【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-97112(P2012-97112A)
【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2012-020
【出願番号】特願2012-2606(P2012-2606)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｋ　39/02　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/102　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/118　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　35/02　(2006.01)*
*Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/116　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/108　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/112　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/095　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/104　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/09　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/08　(2006.01)*
*Ａ６１Ｋ　39/05　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　39/02
Ａ６１Ｋ　39/00　Ｊ
Ａ６１Ｋ　39/102
Ａ６１Ｋ　39/118
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　35/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１２１
Ａ６１Ｋ　39/116
Ａ６１Ｋ　39/108
Ａ６１Ｋ　39/112
Ａ６１Ｋ　39/095
Ａ６１Ｋ　39/104
Ａ６１Ｋ　39/09
Ａ６１Ｋ　39/08
Ａ６１Ｋ　39/05

【手続補正書】
【提出日】平成25年6月18日(2013.6.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

１種又は複数の病原細菌種の抗原（スーパー抗原を除く）を有効量含む、患者の特定の器官又は組織における癌の治療用組成物であって、前記病原細菌種が、前記特定の器官又は組織において病原性の種であり、前記抗原が、前記病原細菌種の弱毒化した細菌の細胞又は死滅した細菌の細胞全体を含む、前記治療用組成物。
【請求項２】
特定の器官又は組織における癌が、肺癌であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、マイコプラズマ・ニューモニエ、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ、スタヒロコッカス・アウレウス、クラミジア・ニューモニエ又はレジオネラ・ニューモフィラである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス又はマイコプラズマ・ニューモニエである、請求項２に記載の組成物。
【請求項４】
特定の器官又は組織における癌が、大腸癌であり、病原細菌種が、大腸菌、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
特定の器官又は組織における癌が、腎臓癌であり、病原細菌種が、大腸菌、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
特定の器官又は組織における癌が、前立腺癌であり、病原細菌種が、大腸菌、コリネバクテリウム種、エンテロコッカス・フェカーリス又はナイセリア・ゴノロエエである、請求項１に記載の組成物。
【請求項７】
特定の器官又は組織における癌が、皮膚癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
特定の器官又は組織における癌が、骨癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項９】
特定の器官又は組織における癌が、口腔癌であり、病原細菌種が、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダンス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１０】
ビリダンス連鎖球菌が、ストレプトコッカス・サリバリウス、ストレプトコッカス・サングイス又はストレプトコッカス・ミュータンスである、請求項９に記載の組成物。
【請求項１１】
特定の器官又は組織における癌が、精巣癌であり、病原細菌種が、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス又はスタヒロコッカス・アウレウスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１２】
特定の器官又は組織における癌が、子宮癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項１に記載の組成物。

【請求項１３】
特定の器官又は組織における癌が、卵巣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１４】
特定の器官又は組織における癌が、膣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス又は大腸菌である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１５】
特定の器官又は組織における癌が、乳癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス又はストレプトコッカス・ピオゲネスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１６】
特定の器官又は組織における癌が、胆嚢癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項１に記載の組成物。
【請求項１７】
特定の器官又は組織における癌が、膀胱癌であり、病原細菌種が、大腸菌である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１８】
特定の器官又は組織における癌が、頭及び首のリンパ腫であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン、アルカノバクテリウム・ヘモリチクム、スタヒロコッカス・アウレウス、シュードモナス・アエルギノーザ、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダンス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項１に記載の組成物。
【請求項１９】
特定の器官又は組織における癌が、胸部のリンパ腫であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、マイコプラズマ・ニューモニエ、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ、スタヒロコッカス・アウレウス、クラミジア・ニューモニエ又はレジオネラ・ニューモフィラである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２０】
特定の器官又は組織における癌が、腹腔のリンパ腫であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ、シゲラ・フレクスネリ、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２１】
特定の器官又は組織における癌が、腋窩及び鼠径部領域のリンパ腫であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項１に記載の組成物。
【請求項２２】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官又は組織に存在するときに感染をもたらしうる、請求項１～２１のいずれかに記載の組成物。
【請求項２３】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官又は組織に感染をもたらしている、請求項１～２２のいずれかに記載の組成物。
【請求項２４】

少なくとも２種以上の細菌種を含む、請求項１～２３のいずれかに記載の組成物。
【請求項２５】
少なくとも３種以上の細菌種を含む、請求項１～２４のいずれかに記載の組成物。
【請求項２６】
サプリメントをさらに含む、請求項１～２５のいずれかに記載の組成物。
【請求項２７】
アジュバントをさらに含む、請求項１～２６のいずれかに記載の組成物。
【請求項２８】
投与が被験者における免疫応答を誘発する、請求項１～２７のいずれかに記載の組成物。
【請求項２９】
抗原が、病原細菌種の弱毒化した細菌の細胞又は死滅した細菌の細胞全体である、請求項１～２８のいずれかに記載の組成物。
【請求項３０】
１又は複数の病原細菌種の抗原（スーパー抗原を除く）を有効量含む、患者の肺癌の治療用組成物であって、前記抗原が、前記病原細菌種の弱毒化した細菌の細胞又は死滅した細菌の細胞全体を含み、前記病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ又はスタヒロコッカス・アウレウスである、前記治療用組成物。
【請求項３１】
１種又は複数の病原細菌種の抗原（スーパー抗原を除く）を有効量含む、患者の特定の器官又は組織における癌の治療用組成物であって、前記病原細菌種が、前記特定の器官又は組織において病原性の種であり、前記抗原が、前記病原細菌種の弱毒化した細菌の細胞又は死滅した細菌の細胞全体を含む、前記治療用組成物。
【請求項３２】
特定の器官又は組織における癌が、大腸癌であり、病原細菌種が、大腸菌、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３３】
特定の器官又は組織における癌が、腎臓癌であり、病原細菌種が、大腸菌、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３４】
特定の器官又は組織における癌が、前立腺癌であり、病原細菌種が、大腸菌、コリネバクテリウム種、エンテロコッカス・フェカーリス又はナイセリア・ゴノロエエである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３５】
特定の器官又は組織における癌が、皮膚癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３６】
特定の器官又は組織における癌が、骨癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３７】
特定の器官又は組織における癌が、口腔癌であり、病原細菌種が、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダンス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項３１に記載の組成物。
【請求項３８】

ビリダンス連鎖球菌が、ストレプトコッカス・サリバリウス、ストレプトコッカス・サングイス又はストレプトコッカス・ミュータンスである、請求項３７に記載の組成物。
【請求項３９】
特定の器官又は組織における癌が、精巣癌であり、病原細菌種が、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス又はスタヒロコッカス・アウレウスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４０】
特定の器官又は組織における癌が、子宮癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４１】
特定の器官又は組織における癌が、卵巣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス、大腸菌、ナイセリア・ゴノロエエ又はクラミジア・トラコマチスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４２】
特定の器官又は組織における癌が、膣癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラジリス又は大腸菌である、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４３】
特定の器官又は組織における癌が、乳癌であり、病原細菌種が、スタヒロコッカス・アウレウス又はストレプトコッカス・ピオゲネスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４４】
特定の器官又は組織における癌が、胆嚢癌であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ又はシゲラ・フレクスネリである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４５】
特定の器官又は組織における癌が、膀胱癌であり、病原細菌種が、大腸菌である、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４６】
特定の器官又は組織における癌が、頭及び首のリンパ腫であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン、アルカノバクテリウム・ヘモリチクム、スタヒロコッカス・アウレウス、シュードモナス・アエルギノーザ、プレボテラ・メラニノゲニク、嫌気性連鎖球菌、ビリダンス連鎖球菌又はアクチノミセス種である、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４７】
特定の器官又は組織における癌が、胸部のリンパ腫癌であり、病原細菌種が、ストレプトコッカス・ニューモニエ、モラクセラ・カタラーリス、マイコプラズマ・ニューモニエ、クレブシエラ・ニューモニエ、ヘモフィルス・インフルエンゼ、スタヒロコッカス・アウレウス、クラミジア・ニューモニエ又はレジオネラ・ニューモフィラである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４８】
特定の器官又は組織における癌が、腹腔のリンパ腫であり、病原細菌種が、バクテロイデス・フラギリス、バクテロイデス・ブルガタス、バクテロイデス・シータイオタオミクロン、クロストリジウム・パーフリンジェンス、クロストリジウム・ディフィシレ、大腸菌、サルモネラ・エンテリティディス、エルシニア・エンテロコリチカ、シゲラ・フレクスネリ、プロテウス・ミラビリス、プロテウス・ブルガタス、プロビデンチア種、モルガネラ種又はエンテロコッカス・フェカーリスである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項４９】
特定の器官又は組織における癌が、腋窩及び鼠径部領域のリンパ腫であり、病原細菌種が

、スタヒロコッカス・アウレウス、ストレプトコッカス・ピオゲネス、コリネバクテリウム・ジフセリエ、コリネバクテリウム・ウルセラン又はシュードモナス・アエルギノーザである、請求項３１に記載の組成物。
【請求項５０】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官又は組織に存在するときに感染をもたらしうる、請求項３１～４９のいずれかに記載の組成物。
【請求項５１】
病原細菌種が、健康な被験者の特定の器官又は組織に感染をもたらしている、請求項３１～５０のいずれかに記載の組成物。
【請求項５２】
少なくとも２種以上の細菌種を含む、請求項３１～５１のいずれかに記載の組成物。
【請求項５３】
少なくとも３種以上の細菌種を含む、請求項３１～５２のいずれかに記載の組成物。
【請求項５４】
サプリメントをさらに含む、請求項３１～５３のいずれかに記載の組成物。
【請求項５５】
アジュバントをさらに含む、請求項３１～５４のいずれかに記載の組成物。
【請求項５６】
投与が被験者における免疫応答を誘発する、請求項３１～５５のいずれかに記載の組成物。
【請求項５７】
抗原が、病原細菌種の弱毒化した細菌の細胞又は死滅した細菌の細胞全体である請求項３１～５６のいずれかに記載の組成物。